

埼玉政連



会長再任のご挨拶



埼玉県宅建政治連盟

会長 内田 茂



会員の皆様におかれましては、日頃より本会の活動並びに運営に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたびの会長再任にあたり先期の実績と今期の注力点についてお伝えいたします。

【令和4－5年度における実績】

- ① 要望活動
 - ・埼玉県宅建協会が令和7年度からの宅建士資格試験協力機関に内定しました。
 - ・『各種「空き家事業」で会員へ取り次ぐ際に所有者へ情報開示の了解を取り付ける件』で5つの自治体が取り組むようになりました。
 - ・全政連と連携して要望した結果により「銀行の不動産業参入阻止」、「低未利用土地利用・管理の特例措置における譲渡価格を800万円に引き上げ」、「住宅ローン控除の延長」などが実現しました。
 - ・業務における会員の問題意識を要望事項に直接取り入れました。
- ② 政策提言
 - ・賃貸媒介手数料の改定案を提示しました。
 - ・空き家問題へ有効に対処するため政策支援・税制優遇や宅建士への調査権限付与を求めました。

【令和6－7年度における注力点】

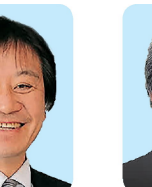
- ① 政治連盟の活動と存在意義の可視化
 - ・勉強会や意見交換会など参加型イベントを通じて会員の政治意識高揚を図ると共に、会務運営や団体活動報告、実現した要望事項について広報や周知を強化します。
- ② 埼玉政連の活動趣旨に賛同くださる政治家や政策集団との連携強化
 - ・自民党宅建懇話会や宅議連、埼玉県より選出された国会議員などの政治家や政策集団などとの会合及び選挙応援などを通じて関係性を発展・深化させます。
- ③ 要望活動・政策提言
 - ・「空き家問題」に対応する形で改正された賃貸媒介手数料について、業務環境の変化や手法の高度化に伴う報酬のあり方へ実務者等より意見等を募りながら提言して参ります。
 - ・空き家問題へ有効に対処できるよう政策支援・税制優遇や宅建士への調査権限付与などの実現を目指して参ります。

宅建業は政策産業でございます。宅建業者が適正な利益を得た上で、顧客に喜ばれるサービスを実践していくには、税制優遇や政策支援などと共に政治との関係性も不可欠となります。今期も会員の權益擁護を目指して会務に取り組んで参りますので、埼玉政連活動にご理解とご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

役員紹介

令和6・7年度役員が就任しました

5月30日の第2回幹事会において、令和6・7年度の役員が選任されました。
会員の皆様の權益擁護のために活動を邁進して参りますので、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

会 長	担当副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	
								
内田 茂 (埼玉北)	松永 好夫 (川口)	奥富 浩 (彩西)	渡邊 勝久 (さいたま浦和)	横田 等 (埼玉西部)	富田 満 (埼玉北)	三城 貴広 (埼玉葛)	松島 義浩 (さいたま浦和)	
幹事長	副幹事長	総務財務委員長 兼 広報委員長(会計責任者)		総務財務副委員長 (会計責任者代行者)		広報副委員長	監 事	監 事
								
木村 忠義 (埼玉東)	栗原 武 (彩西)	岡崎 徹 (さいたま浦和)	井上 敏 (秩父)	小野 忠義 (北埼玉)	堀野 眞孝 (埼玉葛)	堀野 眞孝 (埼玉葛)	山室 幸夫 (川口)	山室 幸夫 (川口)

第54回年次大会開催報告

未来に向けた埼政連活動への抱負を語る内田茂氏が会長に再任！



挙手多数により可決承認されました

5月30日(木)午後3時より、埼玉県宅建会館3F研修ホールにて代議員166名(当日出席者35名、委任状提出者88名)による第54回年次大会を開催致しました。

令和4年度から始まる今期2年間は内外共に大きな変化を伴う「歴史的な転換」ともいえる時期でしたが、埼政連は参議院選挙・統一地方選挙・埼玉県知事選挙に取り組み、要望活動へと邁進いたしました。「宅建士資格試験受託」や「空き家事業への宅建協会会員へ情報開示」を5つの自治体が取り組むなどいくつもの要望を実現し、かねてより要望を重ねた「媒介手数料」も空き家問題に対応する形で改正されましたが業務環境の変化や手法の高度化に伴う報酬のあり方については引き続きの課題となっております。

内田会長は審議の中で「政治とカネ」の問題により政治不信が高まる今こそ、政界に法令順守を求めつつ埼政連の要望を聞き届け、経済や地域の活性化に結び付けられる政策実現力を持った政治家を支えることの重要性を訴えました。



未来へ向けた埼政連会務の要諦を語る内田茂会長

埼玉県宅建政治連盟 議題

<審議事項>

- 第1号議案 令和5年度活動報告書承認に関する件
- 第2号議案 令和5年度収支決算書承認に関する件
- 監査報告
- 第3号議案 令和6年度活動方針大綱(案)承認に関する件
- 第4号議案 令和6年度収支予算書(案)承認に関する件
- 第5号議案 幹事・監事選任に関する件

埼政連会員は地域課題の解決や持続可能な街づくりを実現できる「ハトマーク不動産ショップ」であり、政策産業である宅建業は政治との連携が不可欠な点を念頭に慎重な審議をした結果、全議案とも可決承認されました。

そして、年次大会終了後に開催された第2回幹事会において内田幹事が会長職を指名され埼政連の会長に再任をいたしました。

※役職は開催日当日のものです。



事業活動と計画案について提案説明をする木村忠義 幹事長



決算と予算案を解説する井上敏 総務財務委員長



司会：栗原武 副幹事長



議長：松永好夫 副会長

令和5年度収支決算(単位:円)

科 目	決 算 額
1. 事業活動収入	
入会金収入	8,700,000
会費収入	20,199,900
寄付金収入	593,310
雑収入	343,029
事業活動収入計	29,836,239
2. 事業活動支出	
組織活動費支出	17,843,281
選挙関係費支出	810,762
寄付・交付金支出	7,332,750
調査研究費支出	1,449,972
その他事業費支出	2,175,944
事業費支出計	29,612,709
事業活動収支差額	223,530
3. 予備費	
予備費	0
当期収支差額	223,530
前期繰越収支差額	35,008,737
次期繰越収支差額	35,232,267

「国会議事堂見学及び片山さつき先生との意見交換会・ランチミーティング」開催報告

令和6年2月20日(火)、埼政連は埼玉県宅建協同組合との共催により「国会議事堂見学及び片山さつき先生との意見交換会・ランチミーティング」を参加者32名にて開催いたしました。本イベントは国会議事堂見学及び参議院議員片山先生との意見交換等を通じて参加者の政治意識高揚を図りつつ、懇親会の楽しさによって参加者へ埼政連活動の可視化や理解促進を図り、更には埼政連活動を十分に知らない層へのPR効果も加味して実施いたしました。

当日の片山先生との意見交換では参加者より「銀行の不動産業参入問題」「市街化調整区域」「宅建士の調査権限」など、埼政連の懸案事項について質問がなされましたが、片山先生より自身の政治活動や制度を取り巻く諸事情などをご説明のうえで善処に向けたご提言もいただきました。特に「銀行の不動産業参入問題」では「片山さつきがいる限り銀行の不動産業参入はさせない」との頼もしい発言もいただき、埼政連の活動趣旨に賛同くださる議員との連携が重要である点を再認識いたしました。

国会議事堂見学では案内者の説明に耳を傾けながら貴族院にルーツを持つ参議院の格調の高さと「良識の府」と言われる由縁を感じ入り参観をいたしました。

ランチミーティングには片山先生と衆議院議員 中野英幸先生にもご出席いただき、笑いを交えた楽しい語らいと共に参加者の方々がそれぞれの交流を深めました。

埼政連ではこのような会員参加型のイベントなどを通じて活動の可視化や理解促進を図りながら会員の権益擁護に向けて取り組んで参ります。

